

災害情報研究会 H24 年度 第 7 回会合 (議事録)

(敬称略)

1. 日時 : 2012/11/16(金) 15:00-17:30

2. 場所 : BCAO 日本橋事務所

3. 進行 : 市川座長 (レスキューナウ)

4. 記録 : 南部 (清水建設)

5. 出席者 (8 名 : 敬称略・順不同)

市川 (レスキューナウ)、橋元 (清水建設)、南部 (清水建設)、高橋 (インフォコム)、野田 (アジア航測)、高木 (富士通エフサス)、上倉 (SENON)、副島 (大林組)

6. 実施内容

(1) 前回議事の確認

- ・出席メンバーで前回の内容を議事録にて確認した。

(2) アクション項目別フロー図の検討、確定

① 「a43 : 復旧活動の報告」－高橋 (インフォコム)

- ・上流のアクションを検討。a40 (重要業務の継続・復旧活動の実施) の他、a38 (復旧要員の体制確立)、a39 (情報システムの復旧)、a41 (取引先への状況報告と折衝)、a42 (被災取引先への支援) を追加。
- ・フロー図は概略であり、全てを記載しているわけではないことを再確認。
- ・フロー図で、太い線 : 情報の流れ、細い線 : 機能の中の時系列の流れ、であることを再確認。
- ・「現地営業担当」は他で使われていないので、「営業担当」に統一。
- ・a38 (復旧要員の体制確立) の i74 (帰宅・残留・退避・出社の指示) の媒体を「口頭、電話、メール、掲示板、社内放送」に修正。

② 「a44 : 復旧資機材の確保」－上倉 (SENON)

- ・i21 (自社被害状況) の伝達手段として、「会議、文書」は必要か? ⇒ 会議、文書で伝達されることも有り得るので、残す。
- ・i21 (自社被害状況) の FROM に現地災害対策本部を追加。
- ・i22 (取引先被害状況) は、購買担当、営業担当からではなく、現地対策本部から受け取る。
- ・i47 (重要業務の復旧計画) は a15 (対策の優先順位付け) から来るので、a15 を上流のアクションとして追記。
- ・i47 (重要業務の復旧計画) には、事前の計画と、実際の災害時の臨機応変な判断とがあるので、FROM と HOW を分ける。
- ・i83 (復旧機材の確保状況) の output 先は、現地重要業務担当のみとする。
- ・a40 (重要業務の継続・復旧活動の実施) の「現地ロジスティック担当」は、兵站の意味で「現地ロジスティックス担当」と修正。
- ・i22 (取引先被害状況) の HOW②の「口頭」は削除。

(3) インフォコムの BCP の紹介

- ・インフォコムの BCP (現在策定途中) について紹介があった。
- ・当研究会の成果を取り入れているとの説明があった。

7. 今後の予定

① 次回アクションフロー検討担当

- ・a45 : 副島 (大林組)
- ・a46 : 高木 (富士通エフサス)

② 次回以降

- ・a47 : 若林 (イーアールエス)
- ・a48 : 南部 (清水建設)

8. 次回研究会

- ・日時 : 平成 24 年 12 月 21 日 (金) 15:00~17:00

- ・場所：日本橋BCAO事務所
- ・議題：アクション項目別フロー図検討
富士通エフサスのISO22301取得の紹介

以上